

## 令和5年度第4回経営協議会議事要旨

日時	令和5年9月27日(水) 14:30~16:00
場所	本部棟大会議室 (一部の委員はZoomでの出席)
出席者	空閑学長、松田理事・副学長、佐藤理事・副学長、船水理事・副学長、今井委員、塩谷委員、戎委員、青山委員 (Zoom出席)、岩永委員、岩見委員、鈴木委員 (Zoom出席)、炭谷委員、中村委員、西尾委員
欠席者	大川事務局長・副学長、大日向委員、関委員
出席オブザーバー	高橋監事、増江監事 (Zoom出席)、桃野副学長、木幡副学長、清水副学長
欠席オブザーバー	董副学長

議事に先立ち、前回開催した経営協議会の議事要旨及び発言内容記録については、議事要旨及び発言内容記録として確認された。

### 議題1 国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則の一部改正等について

松田理事から、資料1に基づき国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則の一部改正等について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとされた。

資料1-1	国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則の一部改正等について
資料1-2	国立大学法人室蘭工業大学役員の給与、退職手当、紀律、旅費に関する規則の一部を改正する規則(案)
資料1-3	令和5年12月期以降の役員の期末特別手当における増減基準(案)
資料1-4	役員の期末特別手当における増減基準

### 議題2 国立大学法人室蘭工業大学非常勤職員就業規則の一部改正について

松田理事から、資料2に基づき国立大学法人室蘭工業大学非常勤職員就業規則の一部改正について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会に付議することとされた。

資料2-1	国立大学法人室蘭工業大学非常勤職員就業規則の一部改正について
資料2-2	国立大学法人室蘭工業大学非常勤職員就業規則の一部を改正する規則(案)

### 報告1 大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)の申請結果について

松田理事から、資料3に基づき大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)の申請結果について報告があった。

資料3-1	令和5年度大学・高専成長分野転換支援基金助成金交付内定通知
資料3-2	令和5年度大学・高専成長分野転換支援基金助成金交付申請書

### 報告2 国立大学法人ガバナンス・コード適合状況の更新について

松田理事から、資料4に基づき国立大学法人ガバナンス・コード適合状況の更新について報告があった。

資料4-1	国立大学法人室蘭工業大学ガバナンス・コード適合状況報告書(案)(公表用)
資料4-2	国立大学法人室蘭工業大学ガバナンス・コード適合状況報告書(案)(基本原則全体)

### 報告3 大学の近況について

学長から、資料5に基づき大学の近況について報告があった。

#### 資料5 大学の近況について

#### 懇談1 室蘭工業大学の活動に対する意見及び要望等について

資料6に基づき室蘭工業大学の活動に対する意見及び要望等について懇談を行った。

(学外委員からの主な意見)

##### 青山委員

- ・今後も航空宇宙、ロケット分野の室蘭工業大学の位置付けも発信していただきたい。
- ・室蘭工業大学が地域に根差した活動をしていただいていることは承知しているつもりであり、発信が多くなったことを感謝している。空閑学長のリーダーシップのもとに行っていると思うが、引き続き、地域のために、また北海道の発展のために研究を重ねていくことをお願いしたい。

##### 岩永委員

- ・事務職員のIT関係の研修等、世の中にとって良いとされている取組みを実際にしっかりやっていくことが組織の中では大変で手間がかかることであるが、関係者が前向きに取り組んでいることは評価したいと思った。
- ・我々のところで3月にデジタル人材育成推進協議会を立ち上げており、産学双方の関係者に集まってもらってワーキンググループというかたちで北海道のデジタル人材の育成に向けた具体的な取組みを議論しているところであり、貴学からもご参加いただいている状況である。また、半導体についても同じように協議会を立ち上げて人材育成、あとは企業同士のマッチングについてそれぞれ極めて実務的なかたちでワーキンググループを実施している。こちらにも貴学にもご参加いただいているということで、どちらもそうであるが、事業者側の人材や設備を上手く使っていくとか、あるいは一つの大学だけではなくて連携した方が良いところは上手く連携するとか、そういった取組みを行っていただくべく、ワーキンググループを実施しているところであるので、直接、議論に参加していただいているところではあるが、是非ご活用いただけたらと思う。

##### 岩見委員

- ・共創情報学コースは非常に良いコンセプトだと思う。DXの教育を早くから大学でやっていただけると、本当に素晴らしいことだと思う。

##### 鈴木委員

- ・スタッフの方がMicrosoft365の自主的な研修を進められていることが非常に良いことだと思う。進めるためには、事務方が積極的に情報をまわしていくことが重要なので、そういう取組みがきちんとなされていることに感心した。これから色々なことを変えていけるのではないかと期待感を持った。

##### 炭谷委員

- ・デジタル教育のところは非常に参考になる。当社でもデジタルの面では弱いところがあって、現場作業も技術がどうしても人伝えでつながっていくしかなく、何か形になる、数値になるのが大事だと思っている中で、このような情報は有効だと感じている。

##### 中村委員

- ・外部との提携がこれだけ多く現実化していることが素晴らしく、良くできていると思う。また、事務局と垣根なく若い人の力を引き出して、新しい分野、特にデジタルの部分は触れない人が多い中で、できる人が率先して指導役も務めていて理想的な循環がされているということで、私の関与している大学とも上手く連携ができたらと思った。

西尾委員

- ・大学・高専機能強化支援事業や内閣府の SIP、コンピュータ科学センターもこれから拡充されていくかと思うが、色々な話を聞いて、室蘭工業大学よくやってるな、という印象である。二の矢三の矢と継続していただきたい。

資料6 大学の近況について（令和5年3月～9月分）

以上